

吟詠界の女王、筑前琵琶の名人 山元錦城師のリサイタル

十月十日有楽町読売ホールで



(山元錦城師)

筑前琵琶日本橋会の宗師で名人の譽高い東京の山元錦城師女史は、偉人傑物の多く出ている鹿兒島の出身で、幼女のころより琵琶を好み、この道五十余年の先輩で研鑽極致に達し、宏壯優美の芸風は女史の気性勇勝りの美格を表し現代一品と定評がある。

視察(大団体)したりで師弟愛を増進し慈母も及ぶ愛情を示し、社会福祉や斯道のために巨額の寄付をされるなど芸界の人には稀な美譽篤行も多くの師表の鑑である。十月に催されるリサイタルの企画は、第一部が琵琶独奏、琵琶舞物「義経の最後」、「静」。第二部は錦城流師範格名手の吟詠、ご挨拶、来賓祝辞。第三部は朗詠、師範の連吟、朗詠「雲流るる果てに」、琵琶舞物「関ヶ原」と「母」、祝賀詞などが上演される予定である。以上は何れも宗家山元師自ら構成指導された大作で、その規模の雄大な豪華さは必ずや観衆を魅了するものであろうと期待され前人気を煽っている。詳細次号。

琵琶協会の総会

田辺尚雄先生会長の日本琵琶音楽協会の総会が四年振りで七月二十一日午後一時五十分より愛宕山荘根に於て開会された。出席者は副会長長吉川英史、理事長辻靖剛、役員藤巻旭鶴、吉田耕水、池野谷吟、仲川秀邦、田中旭嶺、山元錦城、栗原雨竹、竹下翠風、藤原氏並に顧問の鈴木普士の他に原島旭、島田春水、山元旭鶴、前田洲月、新部桜水、宮田旭寿夫妻、岡田旭運、水藤五郎、都鶴錦、小沢

錦歌、田中旭公諸氏外で二十数名、委任状七十名である。総会は古田総務の開会挨拶で始まり、座席とか議長の指名または推挙の計らいもなくして会長田辺先生より託されたメッセージを代読の独断専行振りで、次に吉川副会長の挨拶、辻理事長が挨拶で協会の現状までの情勢と感想を述べ、会計報告(担当委員平井洲誠欠席により古田氏代行されたが四年間共赤字欠損の報告。四十七年度事業報告も省略された。会費(従来年額千円)を年額二千円に改める件を諮り可決。桑名委員より四十八年度コンクール実施の事と四十九年一月に東京新聞社と共催で三越劇場で新年演奏会開催する事を報告された。(出演の会費負担金一曲七千円)。四十九年一月より会報発行、毎月研究会開催との計画ありと発表。更に協会は今日の総会で従来の運営を改め拡張の強歩を進めたいとの意向を述べて新運営委員に会長名で左記諸氏を指名されて総会は三時に終わった。吉成登城、仲川秀邦、栗原雨竹、池野谷吟、渡藤鶴東、島田春水、古田耕水、桑名洲聖、石田脩水、平井洲誠、友吉鶴心、水藤五郎、新部桜水、竹下翠風、田中旭嶺、山元旭鶴、原島旭、藤巻旭鶴、宮田旭寿。当日総会席上山元旭鶴さんは協会が四十四年以降毎年赤字会計で、その欠損を辻靖剛理事長が私支出され其の額十金万円に及ぶと聞き辻理事長へ十金万円を寄付し申出で一同を感激させ感謝された。なお水藤五郎氏より母錦歌の発病か

ら死後協会葬までの数々の厚意に對して御礼が述べられた。開会終了後同所で懇親の清宴が四時過ぎ散会した。

故錦穰師百カ日 法要と受勲報告

一世の名人と謳われた錦琵琶宗家水藤錦穰師が去る四月二十三日越劇場に出演中に発病卒倒し、同日二十五日逝去以来早くも百カ日近い七月二十四日に、施主五郎氏に浅草寿松院にて親族並に門下一同と百ヶ日法要を執行し墓参を済ませ、同日夕五時に故師生前の親しき知己と琵琶関係者士等約九十名を上野公園内の精養軒に招き、生前より疎儀までの厚意を深謝し併せて勲五等瑞宝章の受勲報告が行われた。定時に会場三階の控室に設けられた故師の遺影を飾る祭壇に向って参列者一同が奉経裡に菊花を献じ拝礼して冥福を祈る。受勲報告会は五時四十分別室宴会場で催され、法要席の故師の写真を再び会場に移されて参列者には再び会場に移されて報告会者は祈禱会同人で日本琵琶音楽協会役員藤巻旭鶴氏の司会で、開会のことばに続いて協会の理事辻靖剛、伝統芸能同交會役員加藤錦陽の両氏より叙勲発表に至るまでの運動経過の報告があり、次いで協会の会長田辺先生よりのメッセージ(代読藤巻)「叙勲に就ての感想や故人追憶について」協会吉川英史副会長、芸の友社鈴木普士社

田中旭嶺さんの 秋の演奏会決る

東京の筑前琵琶の名匠田中旭嶺師が毎年秋に催す年一回の大会は今年十一月四日に銀座の交詢社ホールにて開催と決った。また例年の通り新作発表曲は大野恵造氏作詞の「野人文覚」と決定した。

藤川晴水氏転居

錦心流一水会本部理事で気骨ある名手と大衆より人気の藤川晴水師は、先般大宮市桜木町より東京都北区志茂四ノ八ノ一四に移転された。(電話一三〇八番)

半田鶴炎さん電話

鶴田錦史師一門の名大家半田鶴炎女史宅の電話は〇四九二(51)二七〇九番です。茲に訂正します

邦楽伝統芸界の名人連出演競技

伝統芸術名流会

玄象会主催で九月二十六日三越で

東京の琵琶界に中秋の名月に似た光を放つ巨匠弘沢雨師が、一昨年秋に旗揚げした伝統芸術名流会は、その名の通り邦楽芸能各界の名人大家の至芸競演で、素晴らしい妙技に観衆を魅了し賞讃され、昨年の第二回名流会では一段と人気を呼び好評を博した。来る九月二十六日正午より日本

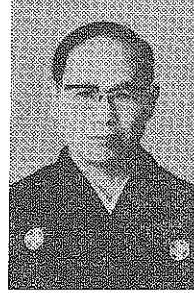


(弘沢雨師)

橋三越本店の劇場で開く第三回目的の伝統芸術名流会は、今年は大物重者の人選を各芸共更新して大物重賀大塚名人、講談の室井馬琴名人、琵琶は筑前派の山崎旭幸、大館洲楓、浅野晴風の三名家に、新たに平家琵琶の第一人者館山甲午師が初出演される。それに珍らしい一絃琴の新倉涼子さんが初出場で、一絃琴、中国古箏、中国古箏を弾ずるのが注目される。その他等、地唄、東明節と多彩で、琵琶出演も会主弘沢師の外に桑名洲聖、正統会の遠藤鶴東、筑前派の押川旭

葉、薩派の清川嵐舟の三精鋭が加わり発刺たる芸風に大衆を魅す意気込みである。筆の増田歌和、福智万寿菜両女流は初回以来の馴染だけに嵐負筋の支援も多しとして当日の大人気が期待される。演し物は(序曲)増田歌和、琵琶城山、清川嵐舟、等近江八景、西歌美、外、琵琶録の木、遠藤鶴東、一絃琴須賀の曲、新倉涼子、琵琶小栗栖、押川旭幸、ひわ伊豆の御難、桑名洲聖、中国古箏梅花三弄、中国古箏春江花月夜、新倉涼子、東明節昨茶屋、多比羅歌登、ひわ奇縁、弘沢雨師、講談加賀騒動、室井馬琴、平家ひわ先帝御入水、館山甲午、ひわ乃木將軍、大館洲楓、地唄七小町、筆増田歌和、三絃福智万寿菜、尺八山口五郎、琵琶曲垣平九郎、山崎旭幸、新内恋娘昔平八丈、志賀大塚、外、琵琶、琵琶平知盛、浅野晴風、琵琶さくら花、会主弘沢雨師。

日本橋第一証券ホールに於て第二回目の琵琶演奏会を催される。彼ノ矢師は洲楓本部の中堅準



(彼ノ矢師)

幹部で山田洲楓師と並ぶ秀技者で温厚な人柄が人気を呼んでいる。今回の催しても恩師大館師を始め前田、桑名、平井、荒川、松崎、稲垣、山田の先輩大家が挙って賛助出演される外、来賓として鶴田錦史名人の一門から友吉、石坂、半田の三大家が特別助演される事となり、ファンの感興に一段と花を添えられるので当日の盛況が予想される。出演者と曲目の通り、城山、加藤洲聖、異国の丘、真泉洲佳、紅葉狩、金尾洲文、重衛、紅林洲紅、竜の口、中村州心、静、宮崎洲香、横笛、山田洲鳳、来賓、敦盛、半田鶴炎、湖水乗切、石坂鶴田、堅田田、友吉鶴心、石坂鶴田、森洲鶴、黎明、松崎洲陵、菅公、森洲鶴、舟弁慶、荒川洲帆、白虎隊、会主彼ノ矢師友、詩舞、桜田門外の交、吟士金尾洲文、舞金尾水岳、結櫻の旗揚、平井洲誠、屋島の譽、桑名洲聖、月下の陣前田洲月、西洲隆盛、宗家大館洲楓師。

彼ノ矢師の 名流琵琶演奏会

九月二十五日二時 第一証券ホールで

東京琵琶界の巨頭洲楓会本部宗家大館洲楓師直門の逸才彼ノ矢師友師は、昨春に教師披露会を催し超満員の人気でファンの声援に応えたが、以来芸術研鑽に努め、愛好者の期待に添うべくと洲楓会の先輩幹部並に絃友の協賛を得て、来る九月二十五日午後二時半より

期日 昭和四十八年 九月二十六日(正午開演) 会場 日本橋 三越劇場

伝統芸術名流会

主催 玄象会

入場料 1,000円

琵琶	増田	清川	西歌	遠藤	新倉	桑名	新	中国古箏	東明節
和	嵐	美	外	東	東	洲	葉	新	多
平	談	地	琵琶	新	琵琶	琵琶	琵琶	琵琶	琵琶
弘	宝	大	福	増	山	山	山	山	山
沢	井	館	田	田	崎	崎	崎	崎	崎
雨	馬	甲	歌	歌	歌	歌	歌	歌	歌
琴	午	州	和	和	和	和	和	和	和
水	琴	楓	和	和	和	和	和	和	和

日時 昭和四十八年 九月三十日(午前十一時開演) 会場 彦根市市民会館(第二ホール)

大演奏会

筑前琵琶日本橋会 関西支部創立記念

主催 関西支部

橘会関西支部 創立 琵琶大会

九月三十日十一時
彦根市民会館で

筑前琵琶日本橋会々員の京阪神と滋賀県在在の有力知名手の間に親和増進と芸術研鑽向上促進のため協力団体結成の説が起りつつあったが、六月中旬に至り各地の主顧協議が一致し日本橋会関西支部新設となり、大阪の山崎旭幸宗範を支部長に推し各役員も選定も済み正式に発足された。



(山崎旭幸宗師)

これに依り同支部では創立を記念し披露のため第一回の琵琶演奏大会を九月三十日午前十一時より彦根市の市民会館第二ホールに於て開催されると。出演者は彦根、大阪、京都、神戸在住者で、外に来賓で、奏曲は第一部十二曲、第二部十二曲であり、一部と二部の中間に於て創立披露式典が行われ、日本橋会本部理事堀田旭甲氏と家元橘旭宗氏の挨拶、彦根市長井伊直愛氏と東京の芸の友社社長鈴木普士が祝辞を述べられる予定である。出演者と曲目は(順位)◎(第一部)城山 田部彰、中川旭誠、絃林田旭城、衣川 島田

信二郎、島田良仁、絃佐伯旭瑛、井伊大老、稲垣旭流、佐治旭電、絃樋口旭秀、吉野落、中川旭城、絃林田旭城、別れの盃、岩崎心、関ヶ原、島田旭千、輝師と政宗、田中元。絃矢吹旭美津、旭羅の史、木村旭勝、巖島の歌、寺尾旭吉、絃山崎旭幸、曲垣平九郎、安住旭康、竜の口、片山旭浜、衣川 鈴木旭芳(創立記念式典)

◎(第二部)西郷隆盛、三浦旭爽、三浦旭彦、絃堀川旭鶴、地震加藤、矢野旭峯、絃林田旭城、石田三成、樋口旭秀、隅田川、矢吹旭美津、大橋公、大迫旭山、鴨川の露、佐伯旭瑛、小栗桐、林田旭城、戦艦大和、久徳旭蘭、丹生谷旭春、絃山崎旭幸、花の白虎隊、渡島旭鶯、新曲都落ち、宗範山崎旭幸、特別出演来賓、北の庄、堀田旭甲。

以上であるが、この大会は近畿に於ける橘会の第一線で活躍の巨匠と名流並に新鋭の粋を網羅した顔合せであり、実力を揮う絃妙の程が最も興味を呼ぶので盛況が予想される。特に彦根は日本文化の恩人とも言われ、居城地である史実名跡のあるだけに関心が多い。

輝水会本部の 夏季勉強会賑う

東京琵琶界に数多い小団体中に、会員が一族のような親しみをもち、互に信頼感を深めつつ伸展に努めている輝水会本部では、恒例の浴衣浴い勉強会を八月五日午後二時より本郷の香風寮で開か

れた。広々とした和室、石燈籠や名木のある庭を眺める涼風誘う盛夏の日曜日、主催者の本部長輝立枝女史、吉川理事、輝師、見見幹事長、西山、利保、阿部伊藤の古参会員を始めとする一門の若い花形数名。来賓として前田、戸谷、小沢、千葉夫妻、鈴木、山崎、甲府の志田の諸名士等が出席された。

夏季おさらい会の先番は、錦穂会の大友由香里(金剛石)に始まり、阿伊染(青葉の笛)、大和里(城山)、竜子(静)、松本貴奇(白虎隊)、甲府志田錦輝(羅生門)、大場(井伊大老)、山崎光水(利久の最後)、伊藤錦貴(横笛)、金森錦司(湖水乗切)、都錦穂(肩を揉む)、西山錦耕(山科の別れ)、利田錦葉(重衡)、千葉夫人の詩吟(富士山)、辺見錦舟(小栗栖)、千葉玉山(安達ヶ原)、前田秋声(恩讐の彼方)、小沢錦弥(天目山)と十九曲の熱演が続き、数十名の参列者を感動させたり飽かせたりで六時過ぎに幕を閉じた。

六時半懇親の清宴が開かれ、吉川錦穂理事長の挨拶に対し、鈴木普士が来賓代表として謝辞を、戸谷錦水が乾杯の旨願で各位のご健康と輝水会の発展を祈祝し、山海の珍味を盛る歓待にビールを酌を引いて興を湧かし賑った。

五州会発会記念 琵琶競演で人気

四絃界の巨星大館名門下の桑

山元旭錦師の特志 協会へ金拾万円

筑前琵琶の名人で吟詠錦流流宗家として万余人の会員を有し、立志伝中の成功者と謳われる山元旭錦師は、偶々日本琵琶協会の総会へ出席された七月二十一日、協会の赤字つぎ会計報告を聞かれ、即座に運営費へと金十万円の寄附を申出て一同を感激させた。山元師は去る三月の日本橋会の故宗家橘旭宗師七周年忌追善会の折しも日本橋会へ金三十万円を寄附して故師の恩を謝表された美行があり、その特志は師表の鑑である。

石井桑水師主催 納涼琵琶会盛況

湘南琵琶界の重鎮で一水会本部の役員である親誠会長石井桑水師が、猛暑続きの炎天下にあえぐ琵琶界を一夕興しんで頂くべく納涼琵琶の会を前報の如く八月十日午後五時より東京上野本牧亭にて催された。この催しは通例の一水会系の企画としては珍らしく出演人選に聴衆本位の配慮が見られ、錦心各派の名流を選出された異例である。即ち鶴派の友吉鶴心、振興会の鈴木流泉、輝派の都錦穂、大館派の桑名洲聖の四名星を出場させ、一水会系の中谷義水、山口速水、藤川晴水と石井會長自身を組合せての競演は全く興味本位の組合せであり参会者を喜ばせ、心地



(永田吟詠師)

よい聴き物で盛んな声援で大賑いであった。出演者の曲は田中光水(故郷山)、末吉希水(花吹雪)、石山視水(竜の口)、藤川晴水(新撰組)、桑名洲聖(伊豆の御難)、小林聰水(欠演)、友吉鶴心(西郷隆盛)、石井桑水(富樫の涙)、鈴木流泉(安達ヶ原)、中谷義水(戦艦大和)、都錦穂(須磨の歌)、山口速水(舟弁慶)で何れも得意の曲を選んでの熱演で各流の賞讃芸であった。

菊水流吟舞の会

東京吟舞界の巨星、菊水流宗家永田吟詠女師は、吟詠指導の本部長菅根悠光師と共に一門の精鋭と花形連数名を引連れ、静岡県下の門下と同好有志等と八月十八日

九月廿九、三十日
筑前琵琶四世家橘旭翁師を主

旭会全国大会

九月廿九、三十日
筑前琵琶四世家橘旭翁師を主

名洲聖、前田洲月、平井洲誠、荒川洲帆、松崎洲陵の五幹部で相謀り、新たに結成した「五州会」の発会記念琵琶会は、前報の通り八月八日午後四時より都下田無市の福祉会館にて開催され、賛助吟詠の円城会、聖条会、若水会有志の朗吟十数題の合吟と独吟につづいて、琵琶の洲誠会原洲泉(城山)、洲聖会橋爪、加藤、初原、水越、洲泉名の合奏(吉野山懐古)、洲月会宮崎洲香、絃前田(唐人お吉)の演奏。更に知名吟詠家の招待吟十五題が独吟で行われた。

いよいよ本番の五州会同人の琵琶演奏は、平井洲誠(河中島)を先番に、荒川(白虎隊)、松崎(吹雪の敵)、桑名(伊豆の御難)、前田(小野訓導)、宗家大館(西郷隆盛)の順で上演妙技が揮われ納涼がてら押寄せたファンの声援も盛んで八時過ぎ好人気裡に終わった。この舞台に祝贈花四基が飾られた。

日時 九月二十五日 午後二時開演
会場 日本橋 第一証券ホール

彼ノ矢洲友琵琶演奏会

来賓特別出演
友石半、坂田鶴、吉坂鶴、心朋炎

東京の藤調琵琶界に温厚の人格紳士と徳望高い岩田錦皇會長の清吟会では、會員の親睦増進と夏期研修を兼ね八月五日午後一時より新宿区新宿一丁目の洲鳳会館に於て浴衣さらひ会を開催された。同会の幹事長三田村錦師が明快な社交性で司会され大賑いであった。会況は後報で。

一水会本部理事山口速水師の琵琶会は、七月十四日午後一時より浅草観世音前の雷中会館にて催された。例によって出演順位のない乱表番組とお盆のため愛好者の出足をにぶらせ入場者は少なく折角の催しも関係者を失望させてしまった。出演の主眼者は会主山口速水を始め友吉鶴心、中谷義水、平野鉦水、石井桑水、島田義水、角田置水、菊地甘水、加藤邦水、佐藤源水、野川瑞水の諸氏、他。

清吟会の浴衣会

山口速水演奏会

読者の皆様へ

十月十日有楽町の読売ホールにて開催されます山元錦師リサイタルの入場券を御希望の方へお取次ぎ致します。お申込みは早目に願います。お申込みは入場券
A席二千円、B席千五百円、C席千円。

転居御通知

この度左の住所に建築中の新居が完成しましたので移転致しました。お知らせ申し上げます。
移転先
札幌市豊平区中の島 一条九丁目
鶴派琵琶(裕水改め)
電話番号が変更
〇一一(八三二) 八四七四番
郵便番号 〇六一
社団法人
日本詩吟学院岳風会
北海道本部理事長
宗師 内山岳俊
山本鶴声師放送

洲鳳会館

新居区新宿一ノ十四ノ九
電話四七三六六番
地下鉄は新宿御苑前駅(下車三分)

仕靖剛翁が入院

日本琵琶協会の理事長仕靖剛師は八月五日自宅で腹痛を起し救急車で三鷹市の杏林病院へ入院、脱腸と診断され、十三日手術を受けられ治療中である。

本部役員四名迎え
札幌で北海道大会

錦心流一水会札幌支部長の二反田岳水師は、この道数十年の古豪であり、気骨ある名手として知られ、北海道屈指の人氣者である。一水会本部より宮原輝水、山口速水、中谷薫水、石井紫水の四役員を招いて錦心流一水会北海道演奏大会を七月二十二日札幌市の埋容センターで開催された。この大会には主催札幌支部より支部長二反田岳水師始め全役員、協賛の山崎紅水、廣川岳水、神宮琵琶の各手並に函館、苫小牧、阿部の支部長も参加され、吟詠の名流数名も協賛出演の珍らしい顔合せで聴衆の興味を呼び盛況の美果を取めた。主催者の当日の奏曲は、井伊大老(天野徳水) 勸進帳(林尚水) 白虎隊(上出鳳水) 桶狭間(廣川岳水) 茨木(山崎紅水) 鉢の木(渡辺飛水) 富樫の涙(石井紫水) 竜の口(二反田岳水) 舟弁慶(中谷薫水) 菅原御前(宮原輝水) 羅生門(山口速水) 以上。

神戸旭岡会の
長田神社夏祭奉納

筑前琵琶の名匠松岡旭師の旭岡会では、長田神社夏祭の七月十七日同神社にて第四十五回目的琵琶奉納演奏を催し、松岡会長田中旭昇幹事長、伊藤旭暢、富樫旭桂、神本旭風、高千穂旭楓、浜本旭好、木庭旭山、下条旭仙、西川旭操、能勢旭陽の諸名手他数会員が奉奏されて参拝の大家を来しませ大人気であった。

逗葉支部七月例会

湘南四郡界の名手平野鉦水師が支部長である一水会逗葉支部では七月八日逗子市桜山会館にて月例会を開き、平野鉦水支部長、石渡鈿水、脇田湖水、本庄糸水、姉崎証水、内藤鉦好、川崎鉦楚、田中鉦新吾、木内順水、曾我竜誠諸氏が出席、各研修弾奏を来しんだ。

京都祇園祭奉納会

京都琵琶協会では祇園祭に協賛し琵琶奉納演奏会を七月二十三日夕五時半より八坂神社能楽殿にて行い、山本嶺舟、平井春嶺、植村眞水、古谷意水、矢吹華水、田中鵬水、戸田旭公、梅原旭海の各派定評の人氣名手と他数名が共演した。また妙技を弾奏して参拝の敬神男女老若を来しませ拍手を受けた。

日本琵琶振興会の
月例親睦研究会

鈴木流泉会長の日本琵琶振興会七月例会は、二十二日午後一時より新橋一丁目の洲風会館にて開催、革新第一回目的琵琶出演は出口石水、緒方晴舟、杉山雅俊、佐藤旭天紅、西村錦風、木原俊子、各派中堅の精鋭と名花で愛好者を喜ばせ、吟詠では中村菊鶴、山田洲風、井上雅翔、望月暉江の各指導の巧吟で来しませ賑わった。

武絃会の研修会

東京都小金井市にある琵琶武絃会の第百回目的研修会は七月十五日

日市福祉会館で開き、吳亮、加藤伊藤、中村、清水、杉山諸氏出演の外三名が出席した。

琵琶詩吟名匠録

- 筑前琵琶橋会師範 師範 押川 旭葉 電話(052)211-1111
- 筑前琵琶橋会師範 師範 岩見 旭香 電話(052)966-6666
- 筑前琵琶橋会師範 師範 西村 錦風 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 新部 桜水 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 水藤 五郎 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 木原 桜綾 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 伴野 鶴風 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 旭蝶 電話(052)944-4444

琵琶詩吟名匠録

- 筑前琵琶橋会師範 師範 日本橋会 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 山崎 旭萃 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 山元 旭錦 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 大坪 旭邦 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 旭風 笹川 鎮江 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 押田 旭窈 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 柴田 旭堂 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 藤巻 旭陽 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 藤巻 旭彰 電話(052)944-4444

筑前琵琶橋会師範

- 筑前琵琶橋会師範 師範 松本 旭柳 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 板谷 旭色 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 田中 旭嶺 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 須田 旭綱 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 大津 旭紅 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 原島 旭粧 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 河野 旭保 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 中村 旭園 電話(052)944-4444

筑前琵琶橋会師範

- 筑前琵琶橋会師範 師範 堀田 旭甲 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 林田 旭城 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 石河 旭豊 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 竹下 翠風 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 廣瀬 翠紅 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 田中 旭昇 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 入谷 錦鳳 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 望月 望江 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 水月 望江 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 水月 望江 電話(052)944-4444

筑前琵琶橋会師範

- 筑前琵琶橋会師範 師範 藤川 晴水 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 水会 本部 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 山梨 錦侯 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 長谷川 錦禪 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 近藤 錦秋 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 福手 錦稜 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 西山 錦耕 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 小沢 錦弥 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 千葉 五山 電話(052)944-4444

筑前琵琶橋会師範

- 筑前琵琶橋会師範 師範 北村 旭良 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 久徳 旭蘭 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 佐伯 旭瑛 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 花方 旭嶺 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 安藤 光鵬 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 木下 旭竜 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 佐野 旭晴 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 小野 旭枝 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 三木 光照 電話(052)944-4444
- 筑前琵琶橋会師範 師範 中村 松聲 電話(052)944-4444

精密部品加工業(腕時計部品) 株式会社 平井精密工業 本社 所沢市日吉町17-13 電話 0429(22)3175 工場 所沢市荒幡218 電話 0429(22)3660 社長 平井円吉(洲誠)

染料・染色助剤・化学工業薬品 合成接着剤・界面活性剤・製造卸商 株式会社 戸谷染料商店 社長 戸谷曙水 本社 東京都台東区下谷2丁目8の9 電話(873)3111, 3112, 3113, 3114, 3115 工場 埼玉県草加市吉町1丁目5の21番地 電話 草加 0489 ③4955 番

最古の傳統と最高の技術 薩摩琵琶 専門製作 三田村 琵琶製作 三田村楽器店 電話 谷谷 六八二一 番

お酒と新鮮魚 大衆的実質酒場 荒井屋 友吉 健ちゃん 東京浅草雷門 横 電話(844)四二五一 番